

2024/10/19(土)に開催された、



「鳥羽わいわい魚魚まつり」の報告

「伊勢湾再生海域検討会事務局（国土交通省中部地方整備局港湾空港部）」

伊勢湾の環境を守る！～伊勢湾再生の取組について～鳥羽磯部漁協本部ブース特等席にて間借りさせていただきました。

【2024鳥羽わいわい魚魚まつり】ステージ

＜於；鳥羽佐田浜東後公園＞



【伊勢湾再生に向けた取り組み概要と、ブルーカーボンに関するQ&Aブース】の開設

＜対応；みなと総合研究財団＞



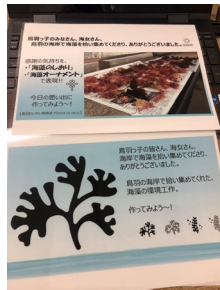
- ・伊勢湾再生に関する資料配布(2種)
- ・ブルーカーボンパンフレット配布
- ・アンケート調査の実施等
- ・ブルーカーボンに関するQ&A

□今回も、伊勢湾再生に関するアンケートを実施。

「海藻のしおり」づくりとの連携を図り、どちらも“大盛り上がり”です。

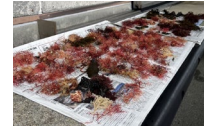
【NPO伊勢湾フォーラムによる環境工作・今回も間借りで「海藻のしおり」づくりをスタート! <対応；山口/柳田幸>

※伊勢湾再生海域検討会やシンポジウム等で各所で連携を取っているひとつ、「鳥羽磯部漁協組合」より、中部地整に「伊勢湾再生海域検討会」の出展と「海藻のしおり」づくりのクラフトブース出展オファーを頂きました。私たちIFは、R5に「鳥羽周辺海域の漁業と観光業連携による海女文化・地域振興に資するBCプロジェクト」のJブルークレジットを4.5t-CO2を購入。購入しただけでは終わらせないために、今回は、鳥羽磯部漁協@小野里室長へ「しおりづくりの具材となる海藻が欲しい!」と相談。早速に鳥羽・答志島「大間の浜」で藤山さんと子供たちがたくさん海藻を拾い集めてくれました。ブルーカーボンの利活用、荒波等の影響を受けてちぎれて浜に打ち上げられた海藻。地産地消の近い意味で、次は、みんなのこころを癒すアートなものとして寄り添う「海藻」の第二の人生として、「しおりづくり(オーナメント)」として登場。地味な海藻が他のものとマッチング。子どもやおとなの手に係ると、すぐステキなものになる。ぱっと広がる笑顔。嬉しそうに出来上がった「しおり」を眺める顔は、とても可愛らしい。今回も大盛況の順番を待ち。伊勢湾再生に関するアンケート調査と共に連携。アンケートの中のQには「しおりづくりが良かった!」とアンサーを頂き、前回同様老若男女楽しく「海藻のしおり」という魔法に掛けられた時間でした。※所要時間2.3分程度。短時間で作れるのが大の魅力。 ※ブルーカーボンプラス+

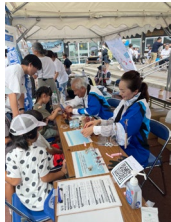


これは、【鳥羽わいわい魚魚まつり】用の案内板

出展する先々に合わせた案内板で、皆さまをお迎えます。



鳥羽・答志島「大間の浜」の場所。海藻たちの天日干しの様子。塩分を取り除くために真水で洗浄処理もして頂きました。ありがとうございます。☆☆



【魚魚事務局本部の横に検討会と工作ブース。3人も法被が似合う。お祭り気分も満喫。皆さんの作品はとてもステキ。】



美味しかったさざえごはん、即席亀の子たわし礁、参加者作品、魚詰め放題イベント等楽しさ満載。